

裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※の欄は記入しないでください。

在園児

新入児

※第 号

支給認定申請書 兼 保育所等利用申込書

提出日：令和 年 月 日

上富田町長 奥田 誠 様

Table with columns for representative guardian (代表保護者), address (住所), name (氏名), and phone number (電話). Address is 上富田町, name is 奥田 誠.

子ども・子育て支援法第 20 条の規定により教育・保育給付に係る支給認定の申請をします。支給認定証に替えて支給認定通知書の交付を受けることに同意し、4 月入所の審査に時間を要した場合、支給認定通知書が 2 月以降の送付となることについて了承します。また、保育所等の利用について次のとおり申し込みます。

Main application form with sections for applicant information (氏名, 生年月日, 性別), care expectations (保育の希望の有無), desired facilities (入所を希望する保育所等の名称), and reasons for care (保育の実施を必要とする事由等).

◎ 申込児童の家庭の状況 (生計同一の方についてご記入ください)

Table for family status of the applicant child, including columns for district (区分), name (氏名), personal number (個人番号), birth date (生年月日), gender (性別), occupation (職業又は学校名等), and remarks (備考).

Additional form section for care implementation details, including columns for necessity of care (保育の実施の要否), implementation period (保育の実施期間), and removal date (保育の実施の解除日).

記入上の注意

この支給認定申請書兼保育所等利用申込書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ上富田町に提出してください。なお、その家族から2人以上の児童が同時に入所を申込み場合は、児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

1. 「代表保護者」の欄の電話については、連絡先が複数ある場合、連絡のつきやすい順に全て記入してください。「代表保護者」の欄の下にある申請等に係る記載の内容を確認のうえ、署名・捺印してください。
2. 「入所児童」の欄は、「氏名」にふりがなを付し、「年齢」には入所される年度の4月1日時点の年齢を記入してください。「性別」「障害者手帳(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等)の有無」については該当するものを○で囲んでください。
3. 「保育の希望の有無」の欄は、希望する方の□にチェック(☑)してください。なお、「保育所等」とは、保育所、認定こども園(保育部分)、小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育をいいます。「幼稚園等」とは、幼稚園、認定こども園(教育部分)をいいます。「有」を選んだ場合は全ての欄に記入してください。「無」を選んだ場合は「保育を希望する時間」「保育の実施を必要とする事由等」「家庭の状況」の欄への記入は不要です。また、「保育を希望する時間」欄に保護者の勤務時間内の時間帯を記入された場合は“両親ともにフルタイム就労だが祖父母が送迎するため短時間保育を希望する”等の理由を用紙の余白にご記入ください。
4. 「支給認定証番号」の欄は、当該申請児童がすでに施設型給付費・地域型保育給付費の支給認定を受けている場合に番号を記入してください。
5. 「入所を希望する保育所等の名称」は希望する順位に従い保育所等の名称を記入し、また、その保育所等を希望する理由(例えば、既に兄弟が入所しているため、自宅から距離が近いため等)を記入してください。
6. 「保育の実施を希望する期間」には、小学校就学始期に達するまでの7.の保育の実施を必要とする事由等に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。ただし、その年度の世帯の現況を把握するため、申請書は毎年提出してください。
7. 保育所等へ入所できる基準は下の表に掲げるような場合で、かつ、両親以外の同居している親族等(生計同一)が児童の保育をできない場合に限られます。「保育の実施を必要とする事由等」の欄については、()内に両親(両親と別居している場合には、現在児童を監護している者)が下の表の(1)から(7)までに掲げるいずれの場合に該当するかを判断して、その該当する番号を全て記入し、かつ、その具体的な状況について、同欄に記入してください。(例えば、(1)や(7)に該当する場合は勤務先(学校名)、就労(就学)時間、就労(就学)日数、通勤(通学)時間等、(3)では親の具体的な状況等、(2)・(4)では傷病名や治療見込み期間等、(5)では災害の程度・復旧見込み期間等)なお、具体的な状況を確認できる書類をあわせて添付してください。
8. 「申込児童の世帯員」の欄は、保護者(別居の場合は「備考」に記入して下さい)及び同居している親族等(生計同一)の全員について記入してください。申込児童本人は不要です。また、世帯員の中で入所児童の他に保育所、幼稚園又は認定こども園に入所見込の者がいる場合は、当該施設名を「職業又は学校名等」欄に記入してください。
9. 「生活保護の状況」「家庭の状況」の欄は、該当する□にチェック(☑)してください。生活保護の適用がある方は保護開始年月日についても記入してください。

(留意事項)

支給認定(保育の必要性の認定)及び施設(事業者)への入所については、

- ・ 保育の実施基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
 - ・ 希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合
 - ・ 保育の実施基準の該当事由により利用期間及び利用時間の希望に添えない場合
- 等がありますから、あらかじめご承知ください。

保育所入所基準

保育所へ入所できる児童は、保護者及び同居親族等(70歳未満で生計同一)の全員が次のいずれかの事情にある家庭の児童です。

- | | |
|---------------|--|
| (1)就労等(家庭外労働) | 児童の保護者等が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合 |
| (家庭内労働) | 児童の保護者等が家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合 |
| (2)妊 娠 ・ 出 産 | 児童の母が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合(保育期間は産前産後各8週間) |
| (3)疾 病 ・ 障 害 | 児童の保護者等が病気、負傷、心身に障害を有するので、その児童の保育ができない場合 |
| (4)介 護 等 | 児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害のある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者等がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合 |
| (5)災 害 復 旧 | 火災や、風水害や、地震などの不幸があり、その家庭を失ったり、破損したりしたため、その復旧の間、児童の保育ができない場合 |
| (6)求 職 活 動 | 児童の保護者等が求職活動(起業準備を含む)を行っているため、その児童の保育ができない場合(保育期間は原則2か月間) |
| (7)就 学 | 児童の保護者等が就学(職業訓練校等における職業訓練を含む)のため、その児童の保育ができない場合 |